

大会観戦がもっと楽しくなる！選手紹介

試合では、バーベルを挙げるわずかな時間(約3秒ほど)にギュギュッと凝縮された“3秒ドラマ”が展開されます。

これまでの努力や想いがその短い試技の時間に詰まっている一瞬のドラマは魅力的です。この、瞬間のドラマを魅せてくれる選手たちをご紹介します。

【女子 50Kg 級】 中嶋明子 選手



9月に行われた[テストイベント](#)で、昨年の全日本選手権から大幅にベスト記録を更新した彼女。今回の記録、62Kgは、パラリンピックに出場するための「標準記録」を突破！

「一歩ずつ階段を上がってきて、今回、パラ標準記録を越せたことは、パーっと、1つ扉が開いた感覚。やっと世界に挑戦できるところに来たので、パラランキングを1つずつ着実に上げていきたい！」

試技前には写真のように集中する姿が印象的。

日本風の集中スタイルですが、ぶつぶつ唱えているのは英語。Jonヘッドコーチのポジティブフレーズ集、気持ちが落ち着くのにエネルギーが満ちてくるのだそうです！試技後はさわやか笑顔がとってもチャーミングな中嶋選手、全日本選手権での活躍も楽しみですね！応援よろしくお願いたします。

【49kg 級】 加藤尊士 選手(豊田市役所)



試合で心がけていることは、練習通りの動きをすること。そのため、2分間の動きは練習も試合も同じです。持ち時間を十分に使い、集中力を最大まで高めてシャフトを持ち上げています。大事な局面に臨む前は『絶対に成功する』と自分を信じて気合いを入れます(写真)。

※2分間の動き→ 選手名がコールされてから試技をスタートさせるまでは2分以内、というルールがあります。

【 65Kg 級 】 佐野 義貴 選手 (EY 新日本有限責任監査法人)



=====

佐野選手のフォームの特徴は、ナローグリップ！（バーベルを持つときの幅が狭め）

「試技の前、特にルーティンはありませんが、独特な呼吸法をします。どの試合も闘争心と集中力と目の前の重量を上げる事だけ考えています。」